KAYABA RALLY TEAM

JAF全日本ラリー選手権 参戦レポート #7

2024年 JAF全日本ラリー選手権 第7戦

RALLY HOKKAIDO

2024/9/6(金)～9/8(日)
北海道帯広市/音更町/池田町/足寄町/陸別町

難関ラリーの洗礼浴びる

悔恨のシーズン初リタイア

KAYABA RALLY TEAM

■ 大会概要

日程: 2024/9/6(金)～9/8(日)
場所: 北海道十勝地方
主催: AG.メンバーズスポーツクラブ北海道
SS数: 12
路面: グラベル95%/ターマック5%
総走行距離: 629.83 km
SS距離: 103.54 km

■ スペシャルステージ設定

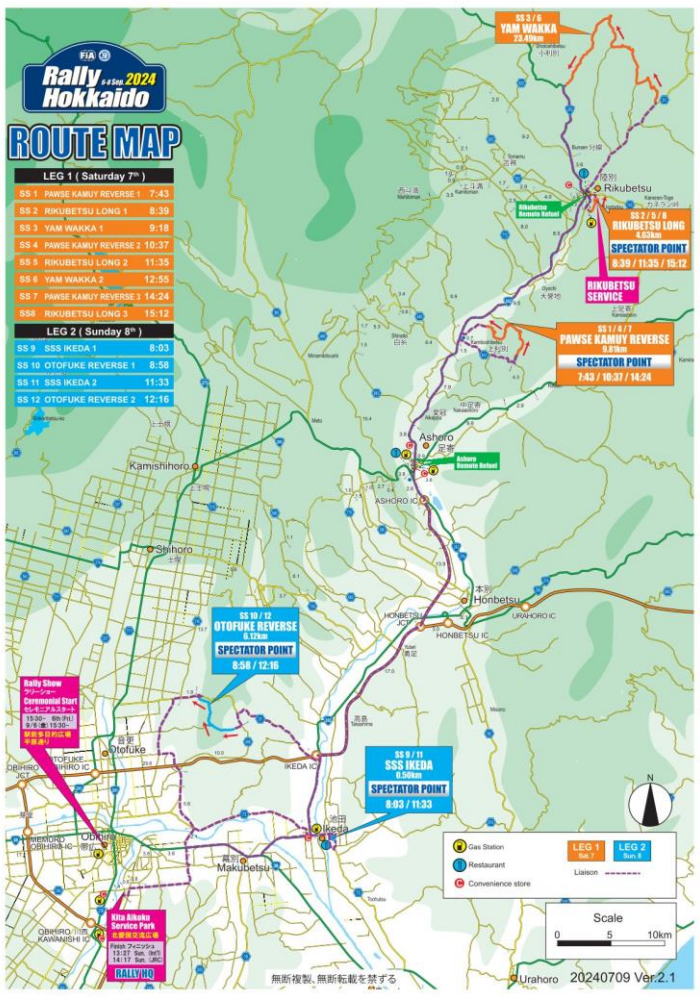
【DAY1】 9/7(土)
天候: 晴れ / 路面: ドライ

	スタート		6:00
SS1	PAWSE KAMUY REVERSE 1	9.81 km	7:43
SS2	RIKUBETSU LONG 1	4.63 km	8:39
SS3	YAM WAKKA 1	23.49 km	9:18
SS4	PAWSE KAMUY REVERSE 2	9.81 km	10:37
SS5	RIKUBETSU LONG 2	4.63 km	11:35
	＜サービスA (20分)＞		11:42
SS6	YAM WAKKA 2	23.49 km	12:55
SS7	PAWSE KAMUY REVERSE 3	9.81 km	14:24
SS8	RIKUBETSU LONG 3	4.63 km	15:12
	＜サービスB (45分)＞		17:46
	パルクフェルメ		

【DAY2】 9/8(日)
天候: 晴れ / 路面: ドライ

	＜サービスC (15分)＞		7:00
SS9	SSS IKEDA 1	0.50 km	8:03
SS10	OTOFUKE REVERSE 1	6.12 km	8:58
	＜サービスD (20分)＞		9:48
SS11	SSS IKEDA 2	0.50 km	11:33
SS12	OTOFUKE REVERSE 2	6.12 km	12:16
	＜サービスE (10分)＞		13:02
	フィニッシュ		13:12

■ 全体図



■ チーム体制

チーム	：KAYABA Rally Team
監督	：桝本 一憲
チームアドバイザー	：奴田原 文雄
ドライバー	：石黒 一暢
コ・ドライバー	：穴井 謙志郎
チーフエンジニア	：松下 雄介
チーフメカニック	：山田 淳一(RUTS RACING)
エンジニア	：柴田 究悟
メカニック	：長江 将典、増谷 大志 松田 幸也、三國 大河
マネージャー	：伊藤 由佳

■ リザルト （リタイア　JN-1クラス14台/総合74台）

クラス	No.	Dr.	Co-Dr.	参加車両名	車両型式	車両区分	DAY 1										クラス順位	DAY2						クラス順位	総合計	クラス順位	総合順位
							SS1	SS2	SS3	SS4	SS5	SS6	SS7	SS8	Penalty	合計		SS9	SS10	SS11	SS12	Penalty	合計				
JN-1	51	新井 大輝	松尾 俊亮	Ahead Skoda Fabia R5	ABCUFX11	Rally2	5:27.3	3:27.0	15:33.4	5:20.7	3:25.6	14:58.8	5:17.0	3:25.6		**56:55.4**	**1**	0:43.8	3:55.8	0:41.7	3:52.8		**9:14.1**	**2**	**1:06:09.5**	**1**	**1**
JN-1	56	HARRY BATES	CORAL TAYLOR	GR YARIS Rally2	MXPA12	Rally2	5:27.0	3:27.7	15:35.8	5:20.8	3:27.9	15:27.9	5:29.2	3:30.7		**57:47.0**	**2**	0:42.2	3:57.3	0:40.9	3:51.2		**9:11.6**	**1**	**1:06:58.6**	**2**	**2**
JN-1	54	奴田原 文雄	東 駿吾	ADVAN KTMS GRヤリスラリー2	MXPA12	Rally2	5:31.1	3:26.9	15:47.9	5:25.2	3:27.0	15:37.3	5:30.9	3:26.9		**58:13.2**	**3**	0:43.4	3:59.4	0:48.3	3:55.4		**9:26.5**	**4**	**1:07:39.7**	**3**	**3**
JN-1	55	新井 敏弘	井上草汰	SUBARU WRX S4	VBHB4Y8-KAC	JP4	5:32.8	3:33.7	15:57.1	5:27.9	3:35.1	15:35.7	5:30.2	3:32.8		**58:45.3**	**4**	0:43.5	4:03.0	0:42.8	3:58.5		**9:27.8**	**5**	**1:08:13.1**	**4**	**4**
JN-1	58	鎌田 卓麻	松本 優一	WinmaX DL シムス WRXSTI	VAB	JP4	5:40.7	3:36.0	16:22.4	5:40.2	3:35.2	16:02.0	5:42.7	3:36.1		**1:00:15.3**	**6**	0:43.6	4:11.9	0:42.9	3:58.5		**9:36.9**	**7**	**1:09:52.2**	**5**	**5**
JN-1	53	福永 修	齊田 美早子	OSAMU焼肉ふじ☆CTE555ファビア	ABCUFX11/R5	Rally2	5:46.2	3:34.4	16:16.3	5:45.2	3:48.1	16:20.0	5:36.4	3:35.9		**1:00:42.5**	**7**	0:42.6	4:02.7	0:42.3	3:58.5		**9:26.1**	**3**	**1:10:08.6**	**6**	**6**
JN-1	59	柳澤 宏至	竹下 紀子	MATEX-AQTEC DL GRヤリス	GXPA16	JP4	5:50.8	3:37.2	16:28.2	5:45.6	3:38.7	16:10.8	5:53.8	3:37.5		**1:01:02.6**	**8**	0:43.8	4:09.5	0:43.5	3:58.5		**9:35.3**	**6**	**1:10:37.9**	**7**	**7**
JN-2	66	石川 昌平	大倉 瞳	ARTAオートバックスGRヤリス	GXPA16	RJ	6:01.4	3:43.8	16:42.1	5:51.9	3:41.8	16:31.5	6:01.7	3:41.1		**1:02:15.3**	**1**	0:45.9	4:23.1	0:44.5	3:58.5		**9:52.0**	**2**	**1:12:07.3**	**1**	**8**
JN-2	72	堀田 信	河西 晴雄	LINKplug-initzzGRヤリス	GXPA16	RJ	6:07.9	3:43.3	17:22.3	5:56.8	3:41.1	17:08.3	5:58.9	3:41.7		**1:03:40.3**	**2**	0:46.1	4:27.1	0:52.2	3:58.5		**10:03.9**	**6**	**1:13:44.2**	**2**	**9**
JN-2	68	関根 正人	松川 萌子	GセキネンDLカヤバWMGRヤリス	GXPA16	RJ	6:11.3	3:42.3	17:16.9	6:02.9	3:42.1	17:18.0	6:05.6	3:41.3		**1:04:00.4**	**3**	0:44.7	4:26.0	0:43.8	3:58.5		**9:53.0**	**3**	**1:13:53.4**	**3**	**10**
JN-2	69	徳尾 慶太郎	石田 一輝	DLクスコitzzフォルテックGRヤリス	GXPA16	RJ	6:17.4	3:46.0	17:27.2	6:04.9	3:45.2	17:24.3	6:11.7	3:45.2		**1:04:41.9**	**4**	0:46.0	4:25.5	0:46.9	3:58.5		**9:56.9**	**4**	**1:14:38.8**	**4**	**11**
JN-2	71	原澤 潤平	磯田 卓	YH 千明自動車 WRX	VAB	RJ	6:06.9	3:48.0	17:37.5	6:02.6	3:46.6	17:28.0	6:05.4	3:48.8		**1:04:43.8**	**5**	0:46.3	4:31.5	0:45.6	3:58.5		**10:01.9**	**5**	**1:14:45.7**	**5**	**12**
JN-3	77	山本 悠太	立久井 和子	SammyK-oneルブロスYHGR86	ZN8	RJ	6:12.1	3:50.8	17:30.8	6:06.8	3:51.0	17:27.7	6:16.6	3:51.4		**1:05:07.2**	**1**	0:46.4	4:36.5	0:46.0	3:58.5		**10:07.4**	**1**	**1:15:14.6**	**1**	**13**
JN-1	63	石黒 一暢	穴井 謙志郎	カヤバ GRヤリス	GXPA16	JP4	5:49.0	3:40.3	16:30.9	R						**-**	**R**	0:44.0	R				**-**	**R**	**-**	**R**	**R**

KAYABA RALLY TEAM

ダイジェスト

9/6(金)～8(日)に北海道十勝地方を舞台に、国内最大規模を誇る第7戦『RALLY HOKKAIDO』が開催され、国内クラスには74台、JN-1クラスは過去最多の14台が集まった。

9/6(金)、社会貢献活動として、帯広市内の小学校にて毎年恒例の交通安全・ラリー教室が行われ、カヤバラリーチームもこれに参加。小学生からの質問やラリーカーの乗車体験が行われ、児童たちは興奮した様子だった。その後、帯広駅前で全参戦車両が並べられるラリーショーが開催され、多くの観客が集まり各車に声援が送られた。

DAY1では、今シーズン最長となる23.49kmのSS3を総合10位のタイムで走破したものの、続くSS4のターマック区間にて、掻き出された路肩の泥で滑ってしまいコースアウトし横転、今シーズン初のリタイアを喫した。

メカニックたちの徹夜におよぶ執念の修復作業の結果、車両は復活し再出走を果たすも、DAY2 SS10にて再びコースアウト、車両に大きなダメージは無いものの、スタックして脱出できず、リタイアとなった。

結果として2日連続のリタイアという悔しい結果に終わったが、今回のラリーで多くの課題が見つかった。10/18～20 岐阜県高山市で開催される最終戦に向け、再起を誓う。

小学校訪問・ラリーショー / DAY1

9/6(金)、大会事務局と選手、協賛各社が協力し、社会貢献活動の一環として実施される帯広市内の小学校での交通安全・ラリー教室にカヤバラリーチームも参加した。土煙をあげながら校庭に登場するラリーカーに児童からは歓声が上がり、4年生56名と選手11名が交流を深めた。設けられた質問タイムでは、「競技中は怖くないんですか？」といった質問が投げかけられたり、ラリーカーへの乗車体験では多くの児童が目を輝かせた。児童たちの健やかな成長と交通安全の願いを込め、協賛各社からグッズのプレゼントが贈られた。帯広駅前にて開催されたラリーショーでは、各チームがサイン会やグッズ配布などを行い、駅前は多くの観客で埋め尽くされ、続いて盛大にセレモニアルスタートが行われた。

9/7(土)のDAY1は3種類のステージをループし、グラベル(未舗装路)とターマック(舗装路)が混在するハイスピードなSS1/4/7、陸別サーキットを使用するSS2/5/8、23.49kmのロングステージなSS3/6の8本が設定された。SS1･SS2は好調なタイムを刻み、クルーが特に警戒し気合を入れて臨んだSS3のロングステージも、不具合無く無事に完走。しかしSS1のループとなるSS4のステージ終盤のターマック区間にて、掻き出された路肩の泥に乗ってしまい、コーナーを曲がり切れずコースアウト、横転し今年初のリタイアとなった。車両が回収され、チームのもとに戻ったのは日が暮れた後。絶対に明日も走らせるというメカニック達の強い意志により、車両は見事に復活を果たした。

KAYABA RALLY TEAM

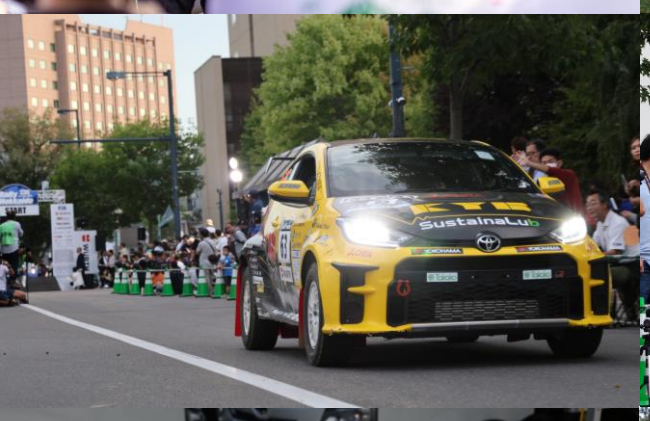
DAY2

前日のコースアウトによるリタイアから、メカニック達の夜を徹した修復作業により見事に復活を果たし、DAY2の再出走が実現した。DAY2は2種類のステージを2ループする、計4本のステージが設定された。SS9/11は現在は使われていない野球場に設けられた特設ステージ、SS10/12は狭くアップダウンの激しい林道ステージで争われる。

SS9の野球場ステージは0.50kmと短いながらも、ピッチャーマウンドをぐるっと回るコースレイアウトなど見応えのあるステージで、スタンド席に集まった多くの観客がラリーを楽しんだ。コンマ秒差での争いが繰り広げられ、カヤバはクラス11位のタイムで走行。

しかし続くSS10にて再度大きなミスが発生する。序盤から緩いコーナーが立て続き速度が乗る中、きつい左コーナーにてブレーキポイントを誤り、コースを外れ小高い土手に乗り上げてしまう。脱出を図るも車両はスタックし動くことができず、無念の2日連続リタイアとなった。ラリー北海道は2年連続完走に至らず、来年のリベンジを誓う。

最終戦は10/18～20 岐阜県高山市にて開催される。大会を盛り上げるべく、昨年に引き続きカヤバがメインスポンサーを務める。



KAYABA RALLY TEAM

DRIVER 石黒 一暢

2日間ともコースオフによりリタイアしてしまったことについて、応援して頂いている皆様やチームには大変申し訳なく思います。選手権屈指の高難易度なイベントとして挑んだ本戦ですが、事前テストや練習が功を奏し、最初の3本のSSは初めてとしては悪くないペースでした。それでも、完走を第一と捉えリラックスした気持ちで挑んだSS4でしたが、終盤のターマックセクションでイン側から掻き出された泥に乗ったことでコースオフし、横転リタイアとなってしまいました。走行を重ねたコースの路面変化に対する想像力のなさが招いたアクシデントであったと理解しております。その後、チームが夜を徹して修理し2日目に送り出してくれたものの、SS10のスタートから約2km地点で再びコースオフを喫しリタイアしてしまいました。こちらはリーディングの遅れもありましたが車速が乗る区間であったことからペースノートに注意を促す指示を入れるべきでした。

反省点が多く悔しいラリーとなってしまいましたが、これまで以上に学びも多いラリーでもありました。次は最終戦のハイランドマスターズとなり、路面は舗装路になりますが、気持ち新たに取り組んで参りますので、引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。

Co-DRIVER 穴井 謙志郎

2日連続のリタイアと情けない結果となってしまい、応援していただいている皆様には大変申し訳ありません。DAY1はSS1の時点でペースノートに「滑りやすい」という情報が追記できなかったこと、そしてDAY2では私のリーディングが一瞬遅れてしまったことが原因でリタイアとなってしまい、改めてラリーの難しさを痛感しました。全力で車両を修復していただいたチームの皆にも申し訳なく、再発防止のための原因分析と改善を進め、更なる成長に繋げてまいります。

ネガティブな点が多いラリーではありましたが、完走できたステージはこれまでよりもペースが上がったリザルトを記録することができ、少しずつではありますが、速さの面における成長を示すことができました。さらに改善と研鑽を深め、強さも備えたチームとなれるよう引き続き精進してまいります。

10月の最終戦はカヤバがメインスポンサーを務めさせていただく大会となります。名に恥じぬ走りを皆様にお見せできるよう、全力を尽くして挑みます。

Special Thanks

CHITA / Takako / Fukoku Tokai / HSK 株式会社平原精機工業 / UTSUE / 山二産業株式会社 / 三正工業株式会社 / カトーメテック
TAIYO STEEL MATERIALS / 株式会社 甲山製作所 / TOSHIDA KOGYO CO.,LTD / NSSI NAKAGAWA SPECIAL STEEL INC. / 株式会社サイキ / OGISON / IKO 日本トムソン
株式会社 東海技研 / Covalent / 株式会社 興亜組 / DAIDO METAL / 林愉快研究所 / 生駒鍍金工業株式会社 / 臼田工業 / PROSPEC
TALEX POLARIZED LENSMAKER / NUTAHARA RALLY SCHOOL / YOKOHAMA / LAILE / KTMS / HKS / FORTEC / PIAA
BELL HELMETS / TONE / RECARO / AQTEC INTERNATIONAL / Mizuno / SPK

※写真は他にもございます。必要でしたらお申し付けください。

私たちは創業から息づく「ものづくり」の原点に立ち返り、未来に向かって歩み続けます。

Kites rise highest against the wind - not with it.　Winston Churchill

@kyb_official
カヤバ株式会社
公式YouTube

@kybcorporation
カヤバ株式会社
公式Instagram

@KAYABA_KYB
カヤバ株式会社
公式X(旧Twitter)

KYB
Our Precision, Your Advantage